



第5期 個別注記表

I この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。

II 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

仕掛品 個別法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

無形固定資産 定額法

3. その他の計算書類作成のための基本となる重要事項

消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

III 貸借対照表に関する注記

関係会社に対する金銭債権債務

金銭債権 15,656,768 円

金銭債務 36,523,090 円

IV 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

売上高 8,279,825 円

外注費等 26,282,340 円

V 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度の末日における自己株式の種類及び株式数

普通株式 1,000 株

VI 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の原因は、労働保険料 69,481 円及び未払事業所税 149,429 円であります。

VII 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額 21,279 円 98 銭

(2) 1株当たり当期純利益 10,072 円 37 銭

VIII 当期純利益

10,072,373 円